

臼田地区の新しい小学校ができるまで 【その1】

これからの子どもたちに より望ましい学びの環境を！

～「大臼田」の叡智を結集して～

①学校施設規模の決定

検討委員会の基本的な考え方

- 20年後、30年後にも安定して学年内複数学級の編制ができる。
- より多くの友だちや教師、保護者、地域の人々とかかわることで切磋琢磨してお互いの思考力、判断力、表現力、コミュニケーション能力を高め合うことができる。
- より多くの目で見守り、育てることで、子どもの可能性を見つけ出すチャンスが多くなる。
- 人口減少が進む中、臼田地区全体の人々が学校を中心に力を結集し、「我がふるさと臼田」を誇れるようになる。

教育委員会の新小学校の施設整備方針

- 児童間、児童と教師間、児童と地域住民間、それぞれにおける多様な人間関係を通じ互いに理解を深めまた切磋琢磨しながら学習し、社会性を培っていくことができる。
- グループ別学習や学校行事など、一定規模の集団を前提とする教育活動を支障なく成立させることができる。
- 教科研究会や指導の充実を図るため、同学年担当の職員間で情報交換などを行うことができるよう、学年内複数学級の編制ができる。

平成27年1月
4小学校を1校に統合

新しい小学校が 目指す学校の姿

・活発な教育活動を目指すための環境

・目指す学校像

・目指す教育活動

・地域づくりに
関われる学校

臼田地区
4小学校の
学校教育目標

②学校建設地の選定

候補地の評価の点数化

観点

- ・安全性
- ・環境
- ・まちづくり・地域づくり
- ・通学
- ・経済性・工事の円滑性

条件

- ・メリット
- ・課題

住民の意向

- ・住民説明会等における
観点のアンケート結果

「コスモホールの西側」を建設候補地とした検討委員会の方針

- ① 評価点数が一番高い。
- ② 児童が広いスペースで学習できる環境
- ③ 施設の配置が自由
- ④ 自然的な状況を考慮した場合に不安要素が少ない。
- ⑤ 幹線道路沿いに立地し、児童の送迎等に利便性が高い。
- ⑥ 日照、騒音の心配がなく、工事をする環境も良い。
- ⑦ 近くに広い駐車場等を備えた公共施設があるなど、住民が集まりやすい場所
- ⑧ 小学校が周辺から見通せる場所にあり、臼田地区のランドマークになれる。

教育委員会としての結論

- 検討委員会としての方針を最大限尊重し、総合的に判断して、児童の学習環境を整えるのに最も相応しい建設場所として「コスモホールの西側」に決定する。
- 通学において、学校や保護者の皆さんと共に通学路や通学手段の検討をして、交通安全施設等の整備には、各関係機関と連携し十分な検討・配慮をする。

平成28年3月
コスモホールの西側に決定

平成27年3月 | 平成27年4月